

IV 乳幼児期における保健指導の概要

	新生児	1～2か月	3～4か月	5～6か月	7～9か月	10～12か月
観 察 の 要 点	<ul style="list-style-type: none"> 身体発育状況 1日の体重増加量（30g程度） 生理的体重減少（生後3～5日で出生時体重の10%前後） 生理的黄疸（生後2～3日から見られる） 胎便、移行便、母乳便、ミルク便 一日の大部分は眠っている 裸にすると手足をよく動かす 明るい光を当てると眩しがる 	<ul style="list-style-type: none"> 1日の体重増加量（20～35g） あやすと笑い始める 光を見つめる、動くものを目で追う 裸にすると手足をばたばたさせる 瞬き反射の出現 寝ていて首の向きを変える 物音やガラガラの音を聞く 手指をもてあそび、しゃぶったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 1日の体重増加量（15～20g） 体重が出生時の2倍 あやすと笑ったり喃語で応える 動くものを目で追う 首がすわる 腹ばいで頭をあげる ガラガラを少しの間握っている 	<ul style="list-style-type: none"> 1日の体重増加量（10～15g） 声を出してよく笑う 歩く人を目で追う 寝返りができる 顔にかけた布などを手で取る おもちゃを取られる事に抵抗する 手にしたものは何でも口にもっていく 歯が生える 	<ul style="list-style-type: none"> 1日の体重増加量（8～10g） 養育者に特別の愛着を示す 人見知り 一人ですわっている 欲しいものに手をのぼしつかむ おもちゃをいじりまわす 	<ul style="list-style-type: none"> 体重が出生時の3倍 身長が出生時の1.5倍 いろいろな喃語を出す はいはい、つかまり立ち 探索行動が活発になる 両手でおもちゃを打ち合わせることができる 小さいものを指でつまむ 芸当ができる
保 健 指 導 の 要 点	<ul style="list-style-type: none"> 養育者の主体的な育児行動の確立（発達の個人差について、不安解消、自信を持たせる、相談相手を得る） 母乳確立への援助（乳房の手当て、分泌促進法、授乳法） 母乳不足感への対応（体重増加、尿回数、時間、機嫌） 保温、室温、湿度、換気 入浴のさせ方、注意事項 衣類、おむつ、寝具（材質、着せ方、洗濯） おむつ交換の意義（清潔、快適） 感染予防 ホームドクターについての考え方 事故防止（窒息） チャイルドシート着用について 母子保健サービスの活用 	<ul style="list-style-type: none"> スキンシップの重要性 あやしかけを多くする 母乳育児継続への支援 授乳や乳房について 混合栄養、人工栄養の指導 外出時の注意 予防接種 	<ul style="list-style-type: none"> 愛着形成の重要な時期 親子の相互作用の大切さ ミルク嫌いの対応 離乳の準備 動きやすい衣服 薄着の習慣 	<ul style="list-style-type: none"> 親子の絆を深める 離乳の開始 むし歯予防（甘味制限、口腔内の清潔、食習慣、生活習慣との関係） 事故防止（転落、火傷、誤飲） 	<ul style="list-style-type: none"> 大人との関わりが発達を促す 離乳中期 生活のリズムの確立 生活空間の拡大 戸外への散歩、他の子どもの遊んでいるところなどを喜ぶ （母体からの免疫の低下） 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳後期 家族と一緒に食事、おやつとの与え方 自分でしたがる気持ちを十分にのばす（ものをいじって遊びたがる、歩きたがる、食べたがる）
異 常 な ど の 早 期 発 見	<ul style="list-style-type: none"> 先天異常 強い黄疸 メレナ 発熱 吐乳 便秘 停留嚢丸 外表奇形 	<ul style="list-style-type: none"> 吐乳 便秘 鼠径ヘルニア 臍ヘルニア 	<ul style="list-style-type: none"> 先天性股関節脱臼 心疾患 斜頸 湿疹 あやしても笑わない 動くものを目で追わない 首がすわらない 	<ul style="list-style-type: none"> 陰囊水腫 鼠径ヘルニア からだ柔らかい、しっかりしない 	<ul style="list-style-type: none"> お座りができない 音のする方を向かない 	<ul style="list-style-type: none"> 心疾患 移動手段がない

		1歳6か月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
親 察 の 発 達 要 点	身体 発 育 ・ 発 達	<ul style="list-style-type: none"> ・体型は細身型に ・視力は0.3～0.4 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯が生えそろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・身長伸びが目立ち、土踏まずも完成する ・聴力は約20デシベル ・視力は1.0 	<ul style="list-style-type: none"> ・体型の細身化が目立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体のつり合いがよくとれスマートになる ・視力は1.0～1.2
	粗大運動	<ul style="list-style-type: none"> ・独り歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ・走る ・大きいボールをける ・手すりにつかまり、一段ずつ足をそろえながら階段を昇る 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が盛んになり平衡感覚が著しく伸びる ・片足立ち、でんぐりがえし、三輪車をこぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい運動ができるようになる ・全身運動がうまくなる ・スキップ、平均台をわたる、ブランコをこぐ ・スピードの調整が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作が一層なめらかになり敏捷になる ・ブランコに立ち乗りして自分でこぐ ・ジャングルジムの上の方まで一人で登れる
	微細運動	<ul style="list-style-type: none"> ・積み木を2～3個積める ・絵本をめくる ・なぐり書きをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・積み木を6～7個積む ・ドアの取っ手を回す ・障子やふすまを開ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・手先の巧緻性が育つ ・クレヨンで○が書ける ・ハサミが使える 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物を描く、ハサミで切り抜く、ハサミののりで簡単なものを作る ・積み木でおうちなどを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったこと経験したことを絵に描ける ・簡単な折り紙ができる
	言語	<ul style="list-style-type: none"> ・知っているものを指さして教える ・意味のある単語が言える ・言語理解が進み、簡単な指示に従える 	<ul style="list-style-type: none"> ・二語文を話し、簡単な問いに答える ・からだの部分や「大、小」などが理解できる ・童謡に節をつけて部分的に歌える ・「なに？」など質問が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話が可能になる ・自分の名前が言える 	<ul style="list-style-type: none"> ・話しことばが完成する ・経験したことを他の子どもに話をする ・ことばによる意志の伝達は正しい発音で可能となる ・「どうして？」と理由をたずねることが増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い通りにことばをあやつる ・数や文字についての知識や理解が育ってきて、創造的活動も活発になる
	情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・自我の芽生えが顕著になる ・不安を強く示したり、かんしゃくという形で怒りを表すことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張が強くなり、自分の思うようにやりたがる ・制止されるとかんしゃくをおこして抵抗する 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒の発達が顕著にみられる ・自己所有意識や自我意識が強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒の抑えが可能になり、安定する ・想像力がたくましくなり、空想と現実をとりちがえることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・感情を自己統制できる
	社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係と社会性が発達する ・模倣が盛んになる ・探索行動が盛んで、養育者から離れて動き回るが、慣れない場所では離れない 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の子どもに興味を示し、後をついて行こうとする ・友達の名前がわかる ・積み木を電車などにみたくて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊び（役割を演じられる）ができ、順番がわかる ・協同的、援助的、譲歩的行動が芽ばえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性の発達が目立ってくる ・周囲に対してがまんする力が出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団でのルールが守れる ・弱い友達や年少児をいたわる ・友達と協力して一つのものを作る
	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳が完了し、幼児食へ移行する ・スプーン・フォークが使える ・コップで水が飲める ・遊び食べ、むら食いはじまる 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で食事をするが、まだこぼしがちである 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶碗を持って食べられる ・はしが使えるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全に一人で食事をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食前から食後までの行動が自主的になり食卓の準備、片づけができる ・食事中に他の人と会話ができる
	排泄		<ul style="list-style-type: none"> ・排尿を予告するようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意を訴えながらがまんできる ・一人でトイレに行けるが、後始末は手伝わないと無理である 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意がなくても自分の意志で排尿できる ・夢中で遊んでいても漏らさない ・一人で大便の始末ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分からトイレに行き、大人の管理がいらない
	衣服着脱	<ul style="list-style-type: none"> ・帽子を一人でかぶる ・長靴やひものない短靴がはける 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でパンツやズボンを脱ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱ぐのは得意になる ・簡単なものは着ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・着衣はほとんど自分でできる 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムが安定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・しつけを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることはするという自信が出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻をかむ ・歯をみがき、口をすすぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴後などに一人でからだを拭く
保健指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の関わりや遊びをとおして精神面及び身体面の発達を促す ・咀嚼機能や消化機能にあわせた形態やバランスのとれた食事について ・食事の一部としておやつについて ・むし歯予防 ・事故防止と安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・からだを使った遊びを十分に行う ・言語理解が進み、表現が豊かになる時期なので、経験を豊富にさせる ・よくほめてあげ、適度に手伝いながら生活習慣の自立への意欲を高める ・基本的な生活習慣のしつけを開始する ・反抗期の大切さの理解とその対応 ・むし歯予防 ・事故防止と安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外の活発な遊びをとおして体力増進をはかる ・身体面の異常の早期発見と問題行動などへの対策 ・視聴覚異常、行動異常、習癖、不適切な関わり ・情緒の発達が顕著に見られる時期なので、経験豊かに養育されることが必要 ・友達遊びなどにより社会性を育てる ・親子遊びを充実させ、子どもの行動や生活を干渉しすぎない ・生活習慣の自立ができるよう援助する ・むし歯予防 ・事故防止と安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの質問には面倒がらずに答える ・知的発達とともに遊びの内容を深めていくような遊びの奨励 ・のびのびした状態で自己実現ができるような環境を与える ・生活習慣の自立にむけて上手にできた時には、十分にほめる ・むし歯予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立心を育ててやり、本人のやることを最後まで見守る ・子どもの気持ちを理解し受け入れる（甘やかすのではない） ・他の子どもとの比較で高い水準を要求しすぎない ・食卓をコミュニケーションの場にする ・むし歯予防 	
異常など の 早期 発 見	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性疾患（肝疾患、腎疾患、心疾患、気管支喘息） ・ひきつけ（熱性けいれん） ・難聴 ・斜視 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達の遅れ ・言語発達の遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・斜視・弱視 ・難聴 ・てんかん 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達の遅れ ・多動 ・自閉傾向 ・かんしゃく ・遺糞 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜尿 ・自慰行為 ・吃音 ・チック ・友達と遊べない 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動がとれない ・情緒不安 ・気になる言動